

2024年3月25日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

全国小企業月次動向調査(2024年2月実績、3月見通し)

[概況] 小企業の売上 DI (2月実績) は、上昇

1 売上

2024年2月の売上 DI は、1月(6.6)から2.4ポイント上昇し、9.0となった。3月は0.9と、2月に比べ8.1ポイント低下する見通しとなっている。

業種別にみると、製造業(▲7.3→▲10.5)ではマイナス幅が拡大した一方、非製造業(7.9→13.9)では上昇した。3月は、製造業で▲18.3、非製造業で3.6と、ともに低下する見通しとなっている。

2 採算

2024年2月の採算 DI は、1月(1.5)から6.6ポイント上昇し、8.1となった。3月は7.9と、低下する見通しとなっている。

3 雇用・賃金

2024年3月調査の従業員過不足 DI は、2023年12月調査(20.1)から0.7ポイント低下し、19.4となった。

2024年3月調査の給与水準 DI(実績)は、1年前(30.9)から10.4ポイント上昇し、41.3となった。1年後は40.9と、2024年から低下する見通しとなっている。

＜調査の要領＞	調査時点	2024年3月1日～8日
	調査対象	当公庫取引先 1,500企業(調査対象の企業規模は裏面のとおりに)
	有効回答企業数	1,276企業
	回答率	85.1%

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:西山、葛貫)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

調査対象の企業規模

製 造 業（従業者 20 人未満）

卸 売 業（ 同 10 人未満）

小 売 業（ 同 10 人未満）

飲 食 店（ 同 10 人未満）

サービス業（ 同 20 人未満）

建 設 業（ 同 20 人未満）

運 輸 業（ 同 20 人未満）

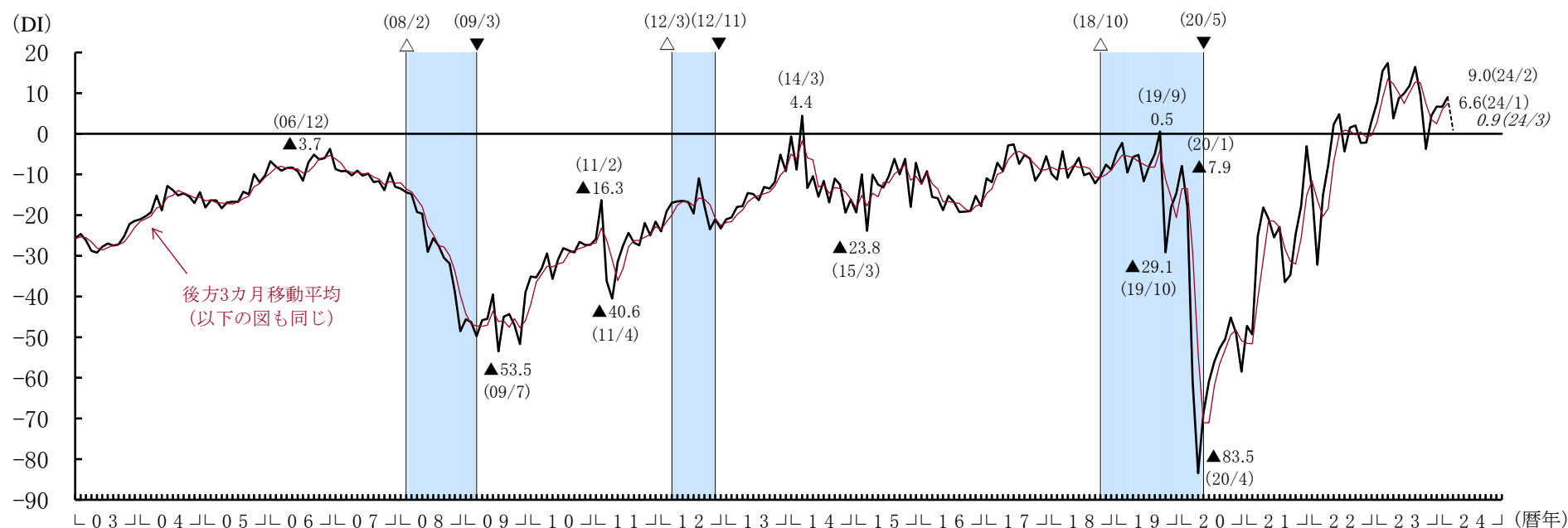
※総務省「経済センサス」における業種および地域構成に合うように、
データにウエイトづけを行っている。

1 売上

- 2月の売上DIは、1月(6.6)から2.4ポイント上昇し、9.0となった。3月は0.9と、2月に比べ8.1ポイント低下する見通しとなっている。
- 業種別にみると、製造業(▲7.3→▲10.5)ではマイナス幅が拡大した一方、非製造業(7.9→13.9)では上昇した。3月は、製造業で▲18.3、非製造業で3.6と、ともに低下する見通しとなっている。
- 非製造業では、卸売業と小売業、サービス業で上昇した。3月は、飲食店と運輸業を除くすべての業種で低下する見通しとなっている。

図－1 売上DIの推移（全業種計、季節調整値）

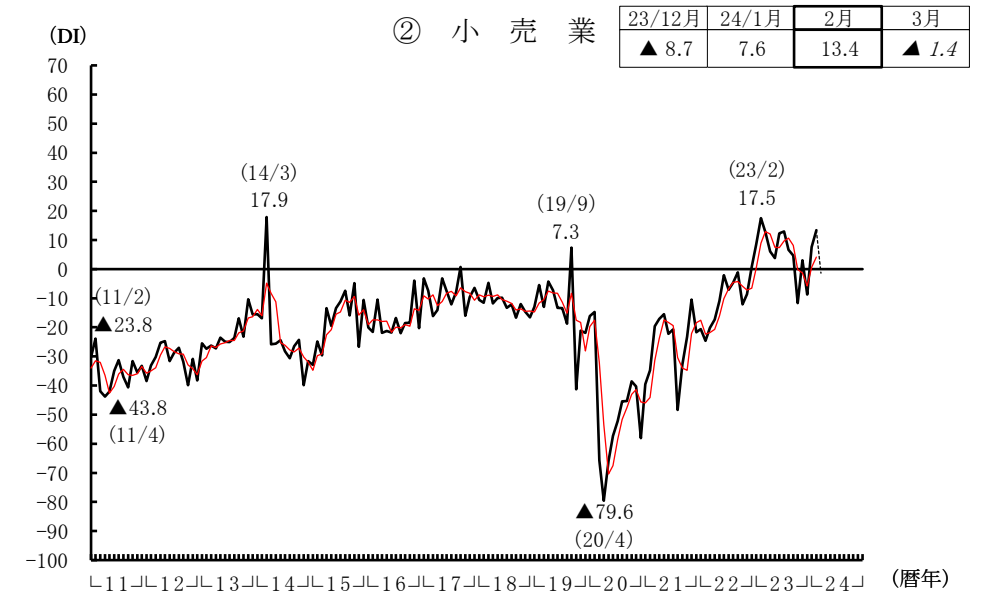
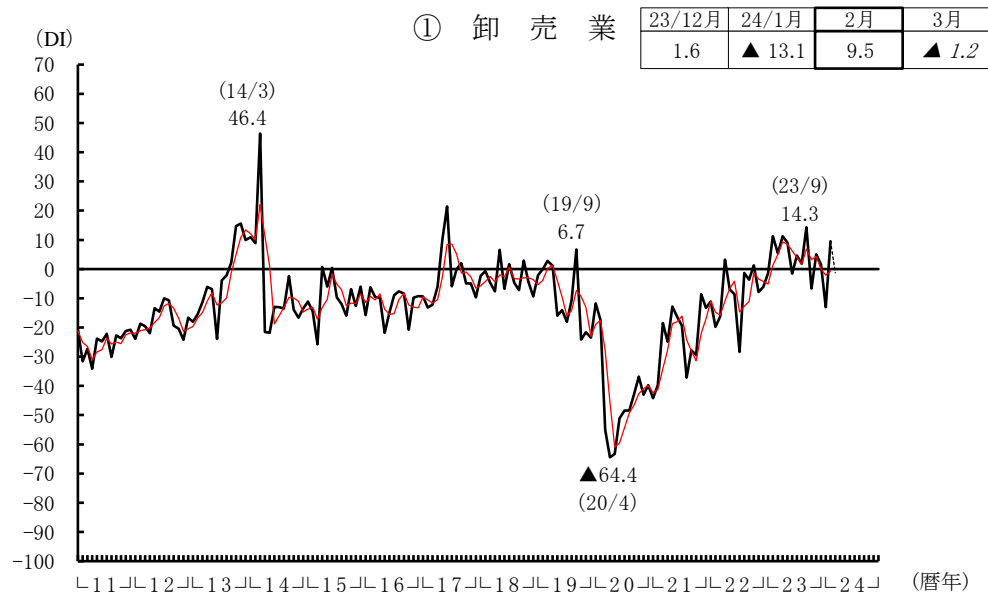
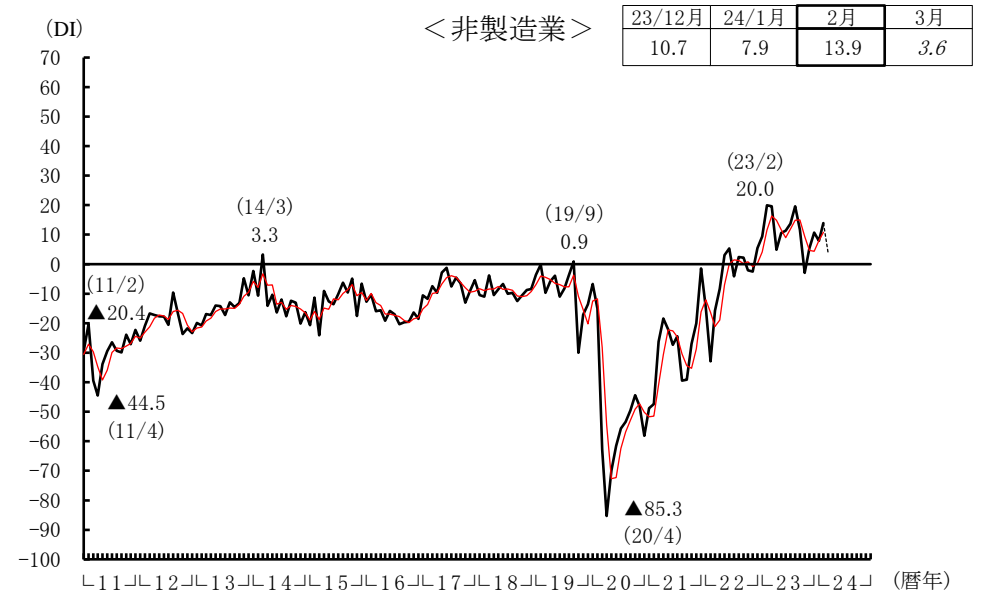
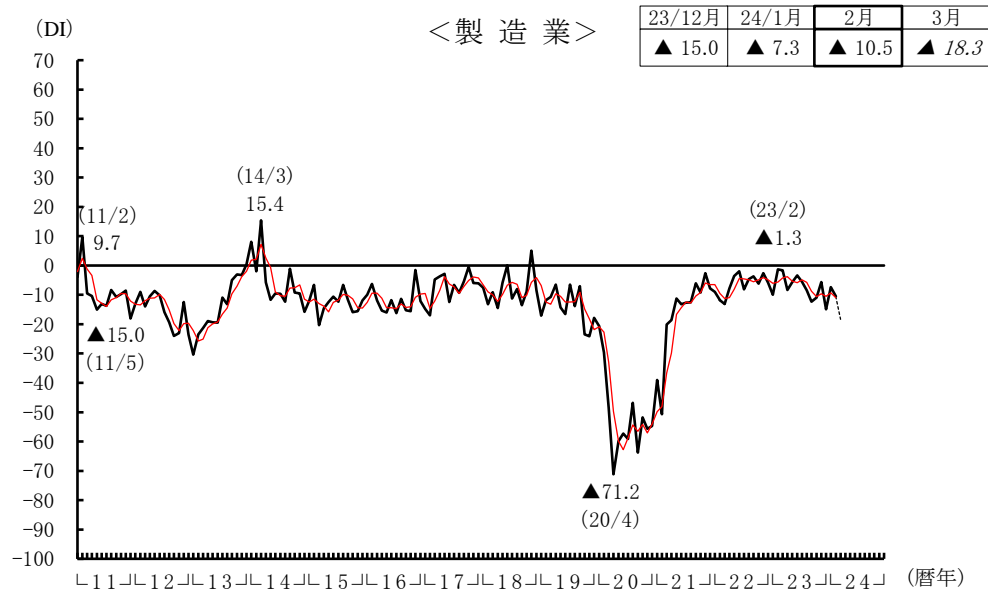
	2023/2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024/1月	2月	3月
実績	15.5	17.4	3.8	8.8	9.9	11.8	16.4	9.6	▲3.7	4.5	6.7	6.6	9.0	-
見通し	8.5	14.2	10.4	12.6	8.4	6.1	13.4	6.1	1.5	▲4.4	5.3	▲3.6	7.6	0.9



(注) 1 売上DIは前年同月比で「増加」企業割合－「減少」企業割合。

2 ———は実績、-----は見通し。斜体は見通しの値を示す。△は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(図-3も同じ)。

図－２ 業種別売上DIの推移（季節調整値）



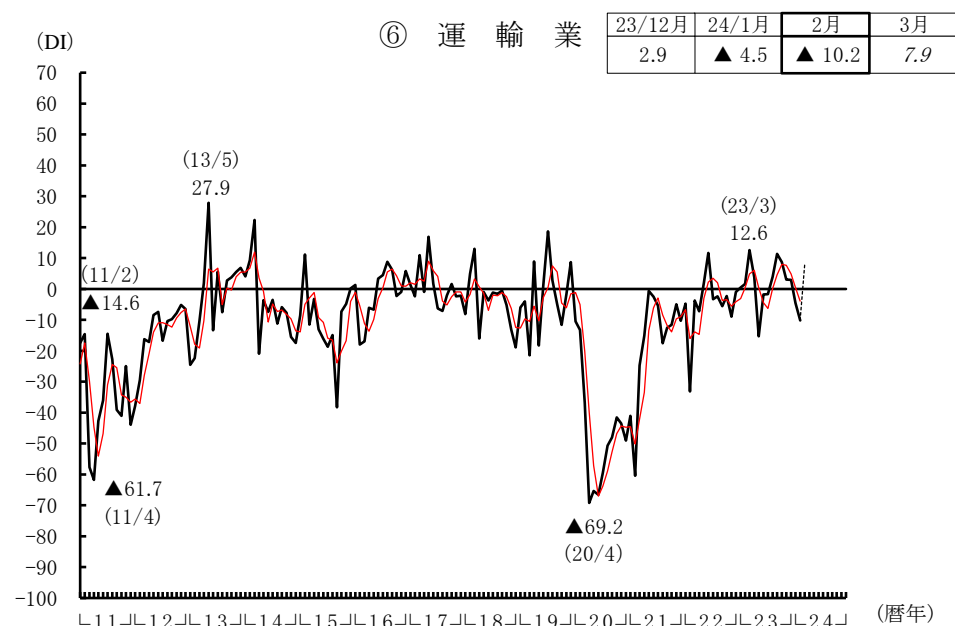
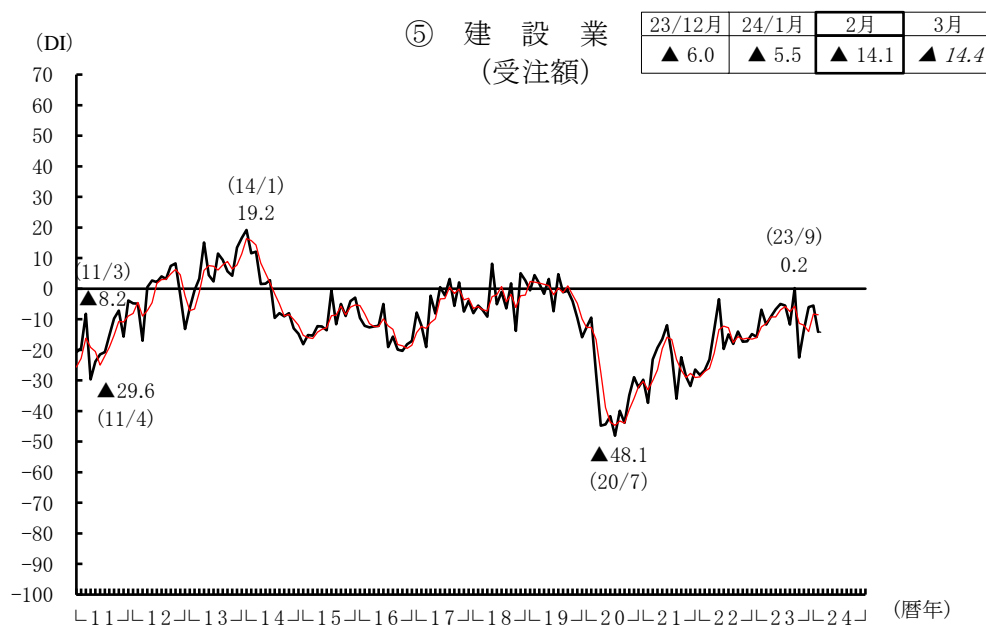
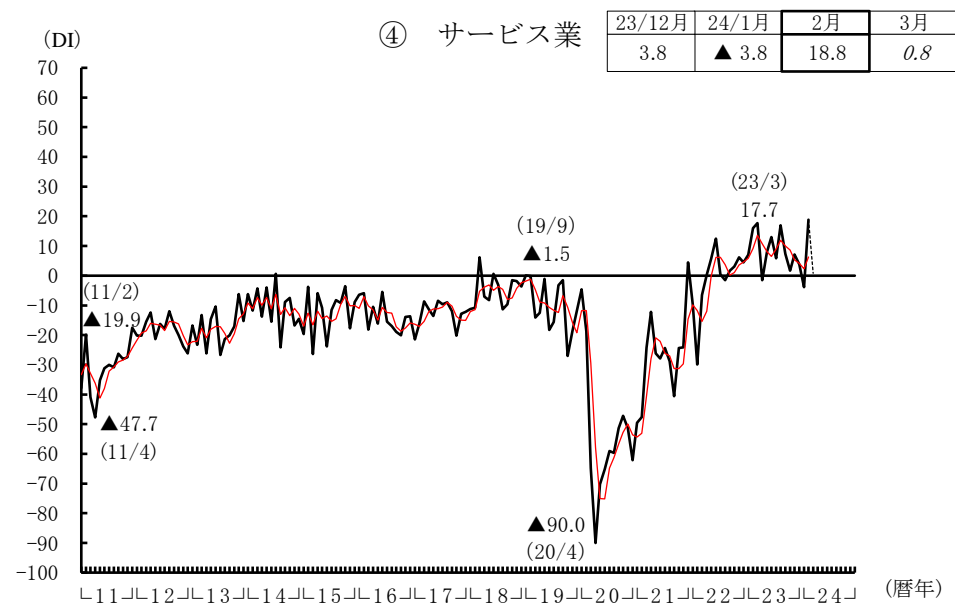
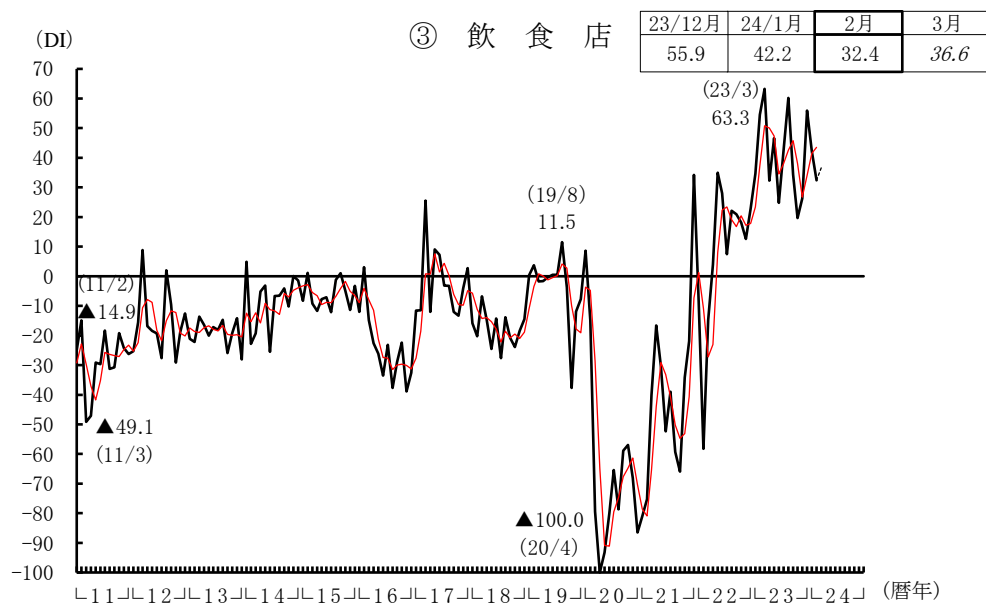


表 業種別売上DIの推移（季節調整値）

(見通し)

	2022年 9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	
製造業	▲ 3.7	▲ 6.2	▲ 2.6	▲ 5.8	▲ 9.9	▲ 1.3	▲ 1.6	▲ 8.4	▲ 5.8	▲ 3.3	▲ 5.5	▲ 8.4	▲ 12.4	▲ 11.0	▲ 5.6	▲ 15.0	▲ 7.3	▲ 10.5	▲ 18.3	製造業
金属・機械	▲ 7.0	▲ 11.3	▲ 5.5	▲ 16.1	▲ 9.8	▲ 12.5	▲ 9.2	▲ 5.3	▲ 14.1	▲ 16.9	▲ 17.1	▲ 23.2	▲ 28.1	▲ 14.7	▲ 8.8	▲ 8.8	▲ 23.7	▲ 11.2	▲ 27.7	金属・機械
その他製造	▲ 0.9	▲ 2.3	▲ 0.3	4.2	▲ 14.7	16.0	5.5	▲ 9.9	0.5	7.7	4.7	2.4	1.1	▲ 8.5	▲ 2.9	▲ 19.6	2.5	▲ 2.5	▲ 8.8	その他製造
非製造業	2.2	▲ 2.0	▲ 2.5	5.4	9.4	20.0	19.6	4.9	10.6	11.4	13.7	19.6	11.7	▲ 3.0	5.4	10.7	7.9	13.9	3.6	非製造業
①卸売業	▲ 3.6	1.2	▲ 7.9	▲ 6.1	▲ 1.4	11.3	5.4	11.2	9.1	▲ 1.6	4.6	1.8	14.3	▲ 6.6	5.1	1.6	▲ 13.1	9.5	▲ 7.2	①卸売業
織・衣・食	1.1	7.0	4.7	▲ 1.9	8.4	15.3	10.7	▲ 2.8	7.0	15.7	10.3	13.1	29.5	6.4	19.7	0.8	▲ 5.4	19.0	7.2	織・衣・食
機械・建材	▲ 7.9	▲ 2.0	▲ 14.8	▲ 6.8	▲ 10.5	6.9	2.5	17.6	7.8	▲ 11.5	0.7	▲ 2.2	3.0	▲ 15.2	▲ 3.2	4.4	▲ 20.8	1.2	▲ 7.2	機械・建材
②小売業	▲ 1.1	▲ 12.1	▲ 8.6	0.8	8.5	17.5	12.7	6.1	3.8	12.3	13.0	6.6	4.7	▲ 11.6	3.0	▲ 8.7	7.6	13.4	▲ 1.4	②小売業
耐久消費財	▲ 21.4	▲ 23.0	▲ 32.3	▲ 27.0	▲ 35.9	▲ 21.9	▲ 23.4	▲ 22.2	▲ 7.3	▲ 21.3	▲ 16.9	▲ 11.2	▲ 13.9	▲ 30.7	▲ 4.0	▲ 32.6	▲ 17.0	▲ 13.8	▲ 16.8	耐久消費財
非耐久消費財	3.4	▲ 9.4	▲ 5.5	7.7	15.7	25.1	19.7	12.2	7.1	19.6	19.0	11.2	8.8	▲ 7.4	2.6	▲ 2.7	11.1	18.4	4.1	非耐久消費財
③飲食店	20.9	18.2	12.5	22.9	34.6	54.5	63.3	32.2	46.7	24.8	42.6	60.2	34.3	19.7	26.3	55.9	42.2	32.4	36.6	③飲食店
④サービス業	1.7	3.1	6.2	4.4	7.1	16.0	17.7	▲ 1.5	8.0	13.1	5.9	16.9	7.3	1.6	7.1	3.8	▲ 3.8	18.8	0.8	④サービス業
事業所向け	▲ 1.7	2.4	▲ 6.7	▲ 8.5	▲ 5.5	▲ 5.4	▲ 5.4	▲ 4.5	6.9	13.7	0.0	5.3	▲ 5.6	▲ 2.5	▲ 9.8	▲ 14.2	▲ 11.5	▲ 6.2	0.4	事業所向け
個人向け	4.5	4.5	10.2	6.9	8.4	21.0	23.1	2.7	8.9	13.2	7.6	20.9	13.2	4.2	12.4	7.7	▲ 4.1	25.0	3.6	個人向け
⑤建設業	▲ 14.0	▲ 17.3	▲ 17.2	▲ 14.9	▲ 15.7	▲ 6.9	▲ 11.8	▲ 9.1	▲ 6.8	▲ 5.0	▲ 5.6	▲ 11.7	0.2	▲ 22.5	▲ 13.5	▲ 6.0	▲ 5.5	▲ 14.1	▲ 14.4	⑤建設業
⑥運輸業	▲ 5.6	▲ 2.3	▲ 9.0	▲ 1.0	0.5	1.6	12.6	3.7	▲ 15.3	▲ 1.7	▲ 1.7	4.0	11.4	8.7	3.0	2.9	▲ 4.5	▲ 10.2	7.9	⑥運輸業
道路貨物	▲ 21.0	▲ 15.2	▲ 22.9	▲ 11.0	▲ 13.1	▲ 3.4	1.2	4.5	▲ 32.2	▲ 16.4	▲ 15.9	▲ 9.4	▲ 1.3	2.9	▲ 0.4	▲ 1.2	▲ 9.0	▲ 7.8	▲ 3.9	道路貨物
個人タクシー	51.4	53.6	51.2	60.1	66.2	70.8	62.1	14.0	57.9	71.7	55.6	59.0	53.8	29.4	12.9	34.3	17.3	22.6	48.2	個人タクシー
全業種計	2.1	▲ 2.2	▲ 2.2	3.2	7.7	15.5	17.4	3.8	8.8	9.9	11.8	16.4	9.6	▲ 3.7	4.5	6.7	6.6	9.0	0.9	全業種計

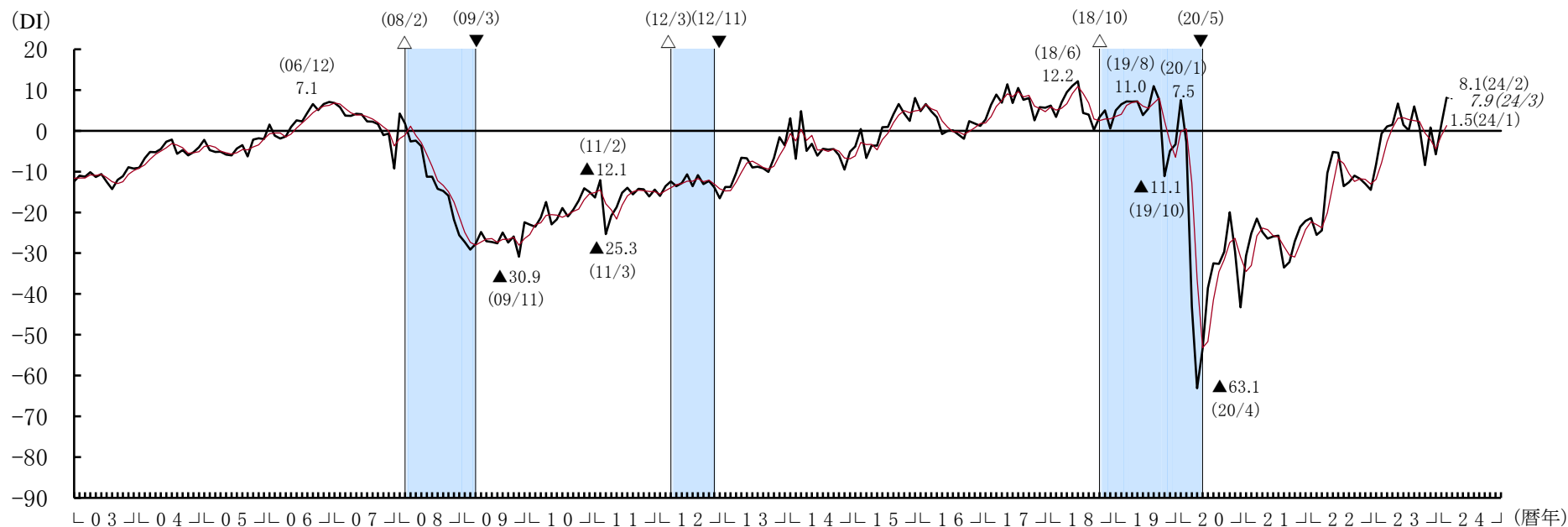
(注) 1 網かけは、前月から低下した数値。
 2 季節調整は業種ごとに行っている。

2 採算

- 2月の採算DIは、1月から6.6ポイント上昇し、8.1となった。
- 3月の採算DIは、7.9と低下する見通しとなっている。

図－3 採算DIの推移（全業種計、季節調整値）

	2023/2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024/1月	2月	3月
実績	▲0.7	1.1	1.5	6.7	1.5	0.1	6.0	0.9	▲8.4	0.8	▲5.8	1.5	8.1	-
見通し	▲3.8	0.7	3.6	10.6	6.5	3.8	▲0.5	5.5	▲1.6	▲11.6	0.6	▲4.6	6.2	7.9

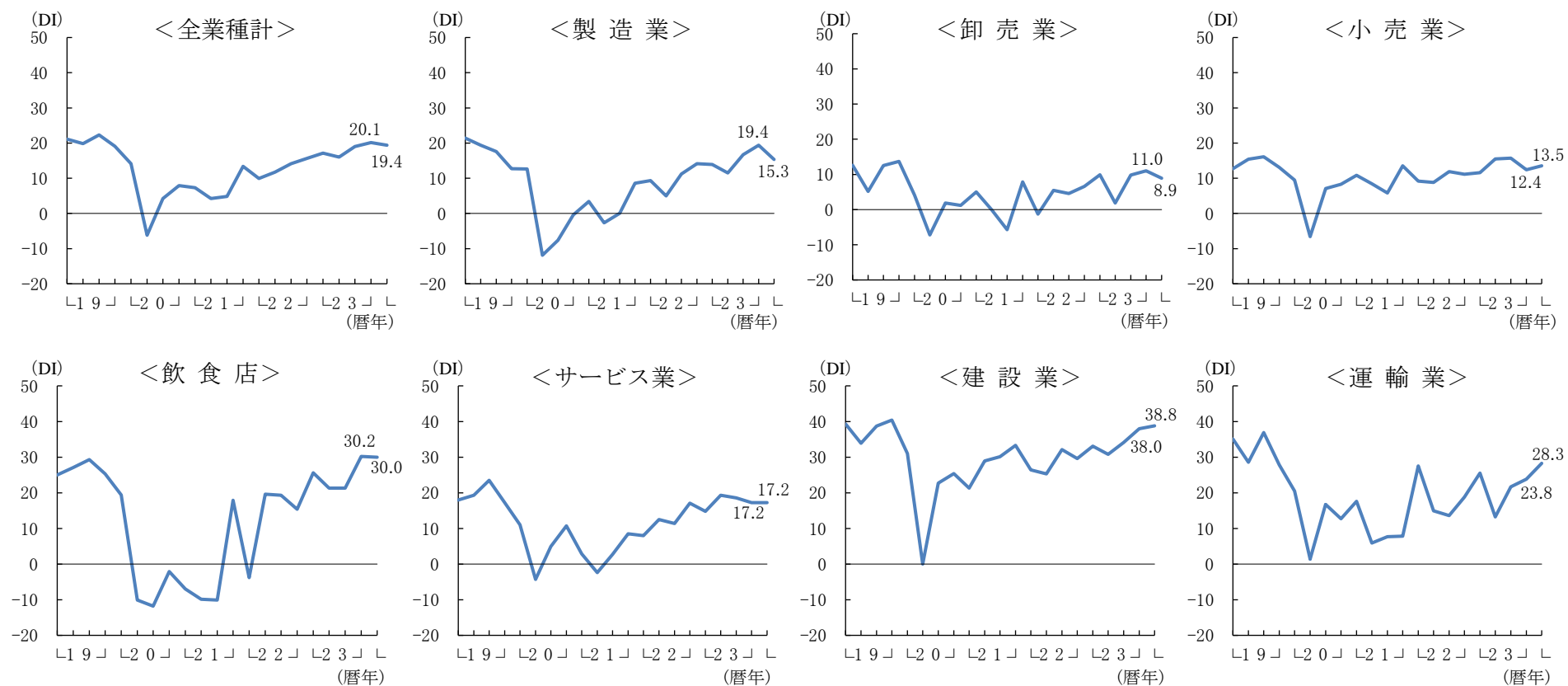


(注) 採算DIは「黒字」企業割合－「赤字」企業割合。

3 雇用・賃金

- 2024年3月調査の従業員過不足DIは、19.4となった。
- 業種別にみると、建設業が38.8と最も高く、次いで飲食店(30.0)、運輸業(28.3)の順となっている。

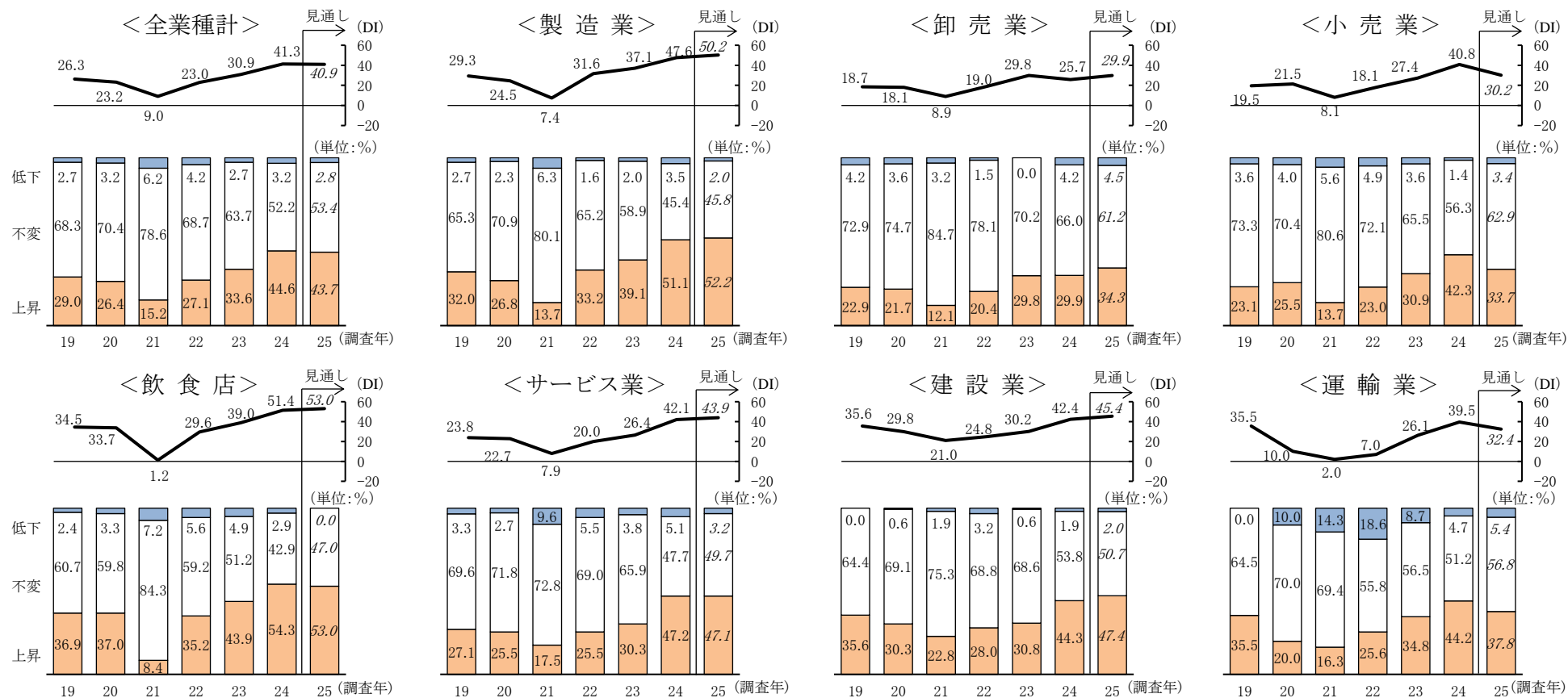
図－4 従業員過不足DIの推移



- (注) 1 このところ(3カ月程度)の仕事量からみた従業員数の過不足を尋ねたもの。
 2 従業員過不足DIは「不足」企業割合－「過剰」企業割合。
 3 調査期は、各年の3、6、9、12月。

- 2024年3月調査の給与水準DI(実績)は、2023年から10.4ポイント上昇し、41.3となった。2025年は40.9と、2024年から低下する見通しとなっている。
- 従業員の給与水準が1年前と比べて「上昇」と回答した企業割合は、44.6%となった。業種別にみると、飲食店が54.3%と最も高く、次いで製造業(51.1%)、サービス業(47.2%)の順となっている。

図-5 給与水準の動向と給与水準DIの推移



- (注) 1 定期昇給、昇格・降格による上昇・低下を除いての回答。
 2 DIは前年比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合。
 3 四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合がある。
 4 調査時点は、各年の3月。